

## 特集 平成29年度

# 地区別意見交換会の進捗状況と成果について

平成30年7月2日より、125会場で地区別意見交換会が行われます。

地区別意見交換会は、JAあいち三河が平成13年度から行っている組合員の方と意見を交わす大切な場であります。

9月号には地区別意見交換会で出た意見をまとめて掲載する予定です。

今回の特集では、平成29年度に地区別意見交換会で出た意見に対して新たに決まった事項や成果報告など、昨年と変化のあったものの一部をお繋ぎさせていただきます。

Q.1 質問・要望

A その当時お答えした内容

A 前回の回答から新たに決まった事項や成果報告、昨年との変化内容

## 営農関係

Q.1 生産緑地の指定解除が数年後に始まるうとしていますが、指定解除後は特例措置等行われますか。

A 都市型農業振興基本法の施行に伴い、都市農業の安定的な存続が求められており、指定解除後も継続措置が図られると考えております。ただし、現行と同内容とは限らないと考えます。

Q.2 農協が中心となって婚活支援などをするのはどうでしょうか？

A アンケート調査を実施し、その意向を踏まえ行政に要望したいと考えています。

Q.3 農協が中心となって婚活支援などをするのはどうでしょうか？

A 全国でも、農協が主体となり婚活パーティー等、農業後継者をはじめJAの組合員指定の婚活支援に取り組んでいます。JAあいち三河でも開催を目指しています。

A 昨年度、婚活イベントを開催しました。また今年

度も8月に開催する予定です。



婚活イベント設置看板

Q.3 個人では、労力ばかりかかり、収益をあげられないがどうすればよいでしょうか。

A 一例ですが、額田地区原グラスの試験をしております。これがうまくいきますと畦畔管理省力化になり、除草作業の労力が軽減されると思います。

A 平成30年度、額田地区にてセンチピードグラスの試験を実施しましたので、経過を確認し効果があれば普及に努めます。

Q.4

水稲の除草剤（ベンケイ）を使用した。理由及び農業共済の保障も含めて対応はどうなりますか。また、新商品を取り扱う場合は、取扱商品の説明をしていただきたいです。

A

薬害の発生理由として、天候が大きく関係しているとの事です。5月の初旬・中旬において気温が低下しており根等が安定しておらず活着が悪い中で、除草剤をまいたことで発生したと思われれます。このことについては、経済連・農協・メーカーと協議をしているところ。農業共済については、薬害等人為的な災害は含みません。

A

今後新商品を取り扱う場合は、取扱説明をしております。平成29年度中に薬害の多く発生した地区の3か所で稲作講習会を実施し、除草剤の使用方法について説明いたしました。（参加者120名）



## 共済関係

Q.5

相見支店の平成28年度の業績については、貯金や融資は残高が伸びているが共済は33億円減少しています。その要因はなぜでしょうか？

A

28年度については、新規契約が伸びず、解約及び満期による非継続が例年に比べ

多かったため33億円もの保有減少となりました。

A

29年度になり、解約等は落ち着きを見せ、満期等も減少し新契約についても順調な伸びがあり、保有減少高は約17億円と減少傾向となりました。

## 施設関係

Q.6

新しい中部支店の場所は決定していますか？

A

まだ決定しておりません。

A

吹矢橋のもと、名鉄バス岡崎営業所の北側に平成31年10月のオープンをめざし建設いたします。（平成31年1月まで市の臨時駐輪場として貸し出してあります。）

Q.7

本店の建設用地の検討とありますが、今の場所からの移設を考えていますか？

A

本店の本館は昭和45年に建設され耐震基準が満たされていないことから、移設を含めて場所の検討をしています。

A

本店機能としての充実を図り事業運営が適切に行える場所を確定するため平成30年1月に本店建設検討委員会を発足し、5月に第2回委員会を開催し、候補地の要件を満たす規模・機能等について検討を開始しました。

平成30年度は7月2日よりJAあいち三河管内125会場で地区別意見交換会が開催されます。ぜひご参加ください。また、今年度は自己改革推進期間の最終年度でもあります。自己改革の取組みを加速させ『農業者の所得増大』、『農業生産の拡大』、『地域の活性化』を実現して自己改革の完遂を目指します。